

令和 7 年 4 ～ 9 月分 モニタリング評価表

和光市総合児童センター

指定管理者： PFI和光市広沢株式会社

代表者氏名※

調査・評価者氏名

(※指定管理者のみ記載)

調査日時 令和 7 年 1 2 月 1 5 日

評価内容	検査項目	評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1. 利用者サービスの向上や利用促進のための取組みがされたか。	3.60
	2. 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	3.80
	3. 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がなされたか。	3.80
	4. 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか。	3.60
	5. 利用促進に向けた広報の取り組みに努めているか。	3.40
【工夫・改善点等】 <ul style="list-style-type: none"> ・混雑緩和のための利用制限により、利用者の満足度が向上することを期待する。 ・利用者サービス向上の取組として、MSRは有効であると考えられ、それを継続的に実施している点を評価したい。 ・事業参加者の横の繋がりやコミュニティづくりにも力を入れており良い。 ・多種多様な利用者ニーズに即した事業を展開し続けている点を評価したい。 ・引き続き、こども・若者の意見を尊重し、特に若者とタイアップするような事業展開を期待する。 		
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1. 適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	3.20
	2. 備品台帳により記録が適切に保管されているか。	3.60
	3. 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか。	3.60
	4. 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか。	3.60
	5. 日常点検、自主点検が適正に行われているか。	3.60
【工夫・改善点等】 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器が壊れている等、課題の多かった音楽スタジオをリニューアルし、利用者増につなげた点を評価したい。 ・遊具を撤去したことを踏まえ、遊具がなくてもこどもが充実したと感じる外遊びを引き続き実施いただきたい。 		
③緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	1. 事故、苦情に対する対応は適切であったか。	3.60
	2. 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか。	3.60
	3. 救急救命に必要なAED等の設置や有資格者を配置しているか。	3.80

	4. 利用者の安全利用のための施設・機器等の点検などが行われているか。	3.80
	5. 事故、災害等の緊急時の連絡体制が、確立されているか。	3.80
【工夫・改善点等】 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適切な注意喚起等の対策を実施いただきたい。 ・室内大型遊具での事故について、再発を繰り返しているところではあるが、その時々々に再発防止に善処している点を評価したい。 		
④快適な職場環境を実現し、本施設の管理運営業務に従事する職員の安全と健康が確保されているか。	1. 適正な人員（人数、有資格者）が配置されたか。	3.80
	2. 労働法規の遵守や適正な勤務体制・勤怠管理システム等標準的な就業環境を維持しているか。	3.60
	3. 職員が良質な公共サービスを提供できるように休暇制度や福利厚生制度の改善に取り組んでいるか。	3.80
	4. 職員の資質向上と能力向上に向けたキャリアアップ可能な教育、研修体制が整備されているか。	3.60
	5. 職員が納得できる働きがいのある公正な人事考課制度が確立しているか。	3.80
【工夫・改善点等】 <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスに影響する部分であるため、引き続き、適切に対応いただきたい。 ・固定シフト制でありながら、職員の希望に沿ったシフトを組み、働きやすい環境を整備している点を評価したい。 ・プレーパーク事業の開催頻度増という目標を立て、プレーリーダー養成講座を積極的に受講している点を評価したい。 		
⑤指定管理者としての努力がなされているか。	1. 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか。	3.60
	2. 収入状況は当初計画と整合しているか。	3.00
	3. 経理事務は適正に処理されているか。	3.40
	4. 適性なサービス品質の性能が発揮されているか。	3.40
	5. 地元の企業市民として地域貢献活動に取り組んでいるか。	4.00
【工夫・改善点等】 <ul style="list-style-type: none"> ・事業と当初計画との整合については、事業開始から一定期間経過するとともに、幹部人事にも変化があることから、改めて見つめなおすべき時期とも思慮される。 ・引き続き、こども基本法や児童福祉法を遵守し、こども計画にも基づきながら、市や市民団体等と連携した事業展開を期待する。 ・市や地域団体の取組に対して、適時適切に関係性を作り、共創ができていることは、極めて高く評価される。 ・複数名のキッズサポーター登録があり、こどもの意見を運営に反映する仕組みができている点を評価したい。 		

90.4点 (評点の合計)
結果 $\frac{\quad}{\quad} \times 100 = 90.4\%$ (評点の割合)
100点 (最高点の合計)

※ 施設の性格や設置目的等により、適切な評価内容となるよう適宜変更すること。

評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点